

5・6 学年

臨床実習／総合臨床教育

4年間の学びを結集し 医療の現場で 口腔医学を実践します。

第5学年では、これまでの学習の総仕上げとなる臨床実習に臨み知識の定着を図ります。本学の医科歯科総合病院などの医療現場で診療に参加し、診断と治療の基本、コミュニケーションスキルを修得します。



4つの特長



- 1 第4学年までの学びを統合するカリキュラム編成
- 2 医療現場で診療への参加を重視した臨床実習
- 3 学内外の指導者によるきめ細やかな指導体制
- 4 医科実習を取り入れた口腔医学の実践

PICK UP CURRICULUM

▶ 臨床実習

担当患者をもって指導医とともに歯科診療を行います。また、内科や外科などの医科実習もあり、総合的な診断と治療を学ぶことができます。



STUDENT'S VOICE

4年間の知識と技術を実習で定着させ 国家試験に向けた勉強に専念。

5学年は医科歯科総合病院で、臨床実習を行う学年です。指導医の先生のもとで治療を行います。座学では得られない患者さんへの応対方法、治療の手順などの知識を吸収できました。感銘を受けたのが、インプラント科の実習で取り扱ったデジタル印象。従来の素材を用いない、先進的な歯科技術を学ぶことができました。6学年は国家試験のストレート合格を目標に、集中して勉強に取り組みます。

第6学年 西野 安奈 さん
(福岡県／西南学院高校出身)

第5学年の代表的な1週間の時間割(令和7年度)

【前期】						【後期】					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1						1					
2						2					
3						3					
4						4					
5	医歯学連携演習／統合演習Ⅰ／Global Medical EnglishⅡ					5	統合演習Ⅰ				

第6学年の代表的な1週間の時間割(令和7年度)

【前・後期】					
	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5	統合演習Ⅱ				

臨床実習 密着レポート

4年間で身につけた知識と技術を臨床実習で確固たる力にします。

本学の医科歯科総合病院をはじめ、高齢者介護施設などにおいて、4年間を通じて学んだ知識と技術を基に臨床実習を行います。医療人としての心構えや倫理観を養いながら、検査、診断、治療計画、処置、予後評価にいたる基本的な歯科診療技能や患者さんへの接し方を、実際の治療の現場に立ち会うことで修得します。医科実習では、専門の指導者が全身の診方を丁寧に教えてくれるなど、貴重な体験ができます。口腔の健康を通じて全身の健康を守る口腔医学の第一歩を踏み出します。



▶ 医科

医科歯科総合病院は、医科の診療も充実した、日本医療機能評価機構から認定を受けた高い水準の総合病院です。医科実習では、外来や入院中の患者さんを対象とし、特に内科ではベッドサイドでの病歴聴取や全身的診察を学びます。高血圧、糖尿病、脳卒中、虚血性心疾患、誤嚥性肺炎といった歯科診療において重要な疾患について、実際の診察と症例検討によって、口腔医学に必要な全身の医学知識を学びます。



▶ 訪問歯科

医科歯科総合病院では、通院できない在宅高齢者や他院に入院中の患者さんへの治療を対象とした訪問歯科センターを開設しています。訪問歯科診療では、むし歯治療や入れ歯などの作製とともに、嚥下機能のリハビリテーションや手術前後の口腔ケアを通して、患者さんのQOL向上を目指しています。キャンパス内の高齢者介護施設や近隣の病院で実習を行い、医科歯科総合病院とは違った状況の中での診療を体験できます。



▶ 歯周病科

歯周病学の臨床実習では、最初に学生同士や実習用のマネキンを使った歯周組織検査や歯石除去を行い、基本的な手技を体得するとともに、自分自身が患者となる体験をしてもらいます。その後、経験豊かな教員の指導のもとに、了承の得られた患者さんの簡単な歯周治療を行います。歯周病の勉強は奥が深く、きちんとマスターするためには何年もの研鑽が必要ですが、はじめての一步となるのがこの実習です。



▶ 口腔外科

口腔外科は常に全身状態と関連付けながら口腔内の疾患を診断、治療します。主に、顎顔面口腔で手術を要する病気が対象で、全身麻酔や鎮静下での治療も行います。臨床実習では、小膿瘍の切開や口腔粘膜の縫合などの外科処置をマスターしてもらいます。また薬の副作用について調べてもらい、科学的根拠に基づいた歯科医療の知識と技術の修得を目指します。